

大治小だより



目指す子どもの姿：「よく考える子・思いやりのある子・がんばりぬく子」 令和8年1月9日

○3学期始業式 1月7日(水)

新年あけましておめでとうございます。午年が幕を開けました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今年も本校へのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年の干支は、60年に一度巡ってくる「丙午」です。校長講話では、その干支の話から各々が目標に向かって羽ばたける1年にしたい、そのためにも自分らしく、そして、根気よく努力してほしい、といった思いを込めて話をいたしました。

【校長講話】

新年あけましておめでとうございます。

どんな冬休みを過ごしましたか？ 新年の目標は、もう立てましたか？

今年は、「午年」です。それも、特に今年は、「丙午（ひのえうま）」といって、60年に一度巡ってくる干支になります。この年は、新しい挑戦や大胆な行動に適しており、目標達成が期待される、ともいわれます。もちろん、目標に向かって、ちゃんと努力をしてこそ、達成ですよ。

みなさんも、目標にむかって、根気よくがんばってください。「根気よく」がポイントです。その頑張りが、少しずつ実を結び、やがて目指すところに到達できると思います。

さて、今日から始まる3学期は、1年で一番短い学期です。6年生のみなさんは、あと2か月半でこの大治小学校を卒業です。1年生から5年生のみなさんも、あと3ヶ月余りで、学年が一つ上がりります。

そんな新しい年、そして、大切な学期の始まりに、皆さんへこの四字熟語を送ります。

『天馬行空』（てんぱこうくう）

この言葉は、「馬（午）が天を駆けるように、自由と力強さを表現しており、目標を見据えて、馬（午）のように駆けて行く様子」を表している言葉だと言われます。「丙午」にふさわしい言葉ですね。「天馬行空」で、目標に向かって、堂々と、自分らしく進んで行ってほしいと思います。

「天馬行空」、…私の話を終わります。

